

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.ferrotec.co.jp/">http://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所

# FerroTec

株式会社フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp>



このマークは株式会社ツバルの森が提供する太陽電池発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。  
株式会社フェローテックは、本誌の制作(印刷)時に消費する電力担当をグリーン電力証書を利用することで、日本における自然エネルギーの普及促進に貢献しています。

フェローテックは環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進しています。



第29期 決算報告

# BUSINESS REPORT

平成20年4月1日～平成21年3月31日  
証券コード：6890

FerroTec  
株式会社フェローテック

# 人々の明日のために、 地球の未来のために。

フェローテックは、技術系ベンチャーの草分けとして1980年に設立されました。NASAのプロジェクトから生まれた磁性流体を核とした当社独自の技術は、世界で高い評価を得ています。



## ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社事業へのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに第29期（2008年4月1日～2009年3月31日）における事業の取り組みおよび成果について、ご報告をお届けいたします。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

代表取締役社長 山村 章

## トップインタビュー



太陽電池関連がけん引した1年  
厳しいときこそ、次に挑戦します。

### プロフィール：

1944年生まれ。69年米ノースイースタン大大学院修士課程修了。87年MBO、99年元親会社を友好的なTOBにより子会社化、現職に至る。75分間歩く長距離歩行を最近始めた。千葉県出身。64歳。

**Q1** 景況感の悪化が懸念されていますが、フェローテックの第29期の連結業績はいかがでしたか。

最終業績は、連結売上高が366億5千万円、営業利益が27億9千万円、経常利益が20億9千万円となりました。当社の業績をけん引してきた太陽電池関連事業は、為替換算により減収を余儀なくされましたが、ほぼ想定どおりの健闘を示しました。しかし、半導体と液晶市場の低迷、米国を中心とした自動車の生産・販売の減少により、装置関連事業や電子デバイス事業などの売上が予想以上に落ち

込みました。利益面については、売上高の減少に加えて、構造改革費用として特別損失6億6千万円を計上することとなり、当期純利益は7億4千万円にとどまりました。

**Q2** 明るい兆しは見えているのでしょうか？

前期までは当社の連結売上の50%以上を占めていた半導体関連事業の売上が、金融危機の影響もあり、下期以降は大変厳しい状況でした。



その中でこれだけの業績で踏みとどまることができたのは、やはり太陽電池関連事業の貢献によるものだと思います。太陽電池関連事業は、当期中に新設されたセグメントながら、連結売上高の約30%、営業利益の約59%を占めています。

今年の後半から来年度にかけて半導体市場も動き出せば明るい光も差してくると思います。

もう一つの柱である電子デバイス事業のサーモモジュールは、米国のビッグ3の低迷などの影響を受けましたが、こちらも血液検査やDNA解析装置などの新しい市場が生まれており、徐々に明るさが見えてくるでしょう。

半導体関連事業でも記憶媒体として使われているハードディスクに省エネタイプのソリッドステートメモリーを使ったパソコンやサーバーが登場してくるニュースがあります。新しい需要が生まれれば、半導体市場も活気がでてきます。

#### 今期のトピックス

2008年12月

#### 「技術を知るIRフォーラム」に出展

個人投資家の皆様に当社代表取締役社長 山村章が太陽電池関連事業に関する取り組みについて講演をいたしました。当日は出展ブース内で当社のコア技術、磁性流体やその応用製品である真空シール、自動車の温調シートに使用されているサーモモジュールを展示いたしました。



2009年2月

#### 「PV EXPO 2009」に出展

太陽電池セルの基板材料であるインゴットを製造するシリコン単結晶引上装置・シリコン多結晶製造装置のパネル展示と単結晶シリコン製造に不可欠な石英るつぼを展示いたしました。



### Q3 世界がこぞって環境関連の投資を打ち出しています。太陽電池関連事業への追い風は吹きそうですか？

オバマ大統領の登場でグリーンニューディールが叫ばれ、太陽電池関連が注目を集めています。ただ、この1~2年だけを見ると欧州などでは加熱ぎみともいえる状況でした。ところが欧州で太陽電池への投資を進めてきたファンドの一部が金融危機で資金を引き上げる結果となり、日本勢に再び注目が集まっています。

当社のビジネスでいうと、太陽光パネルの元となるセル製造のための単結晶引上装置や多結晶製造装置が注目されていますが、薄膜系の太陽電池製造装置にも当社の真空シールが使われています。現在は中国国内のセルメーカーに装置を提供している段階ですが、次のステップとして、中国以外への広がりも狙っていきます。

### Q4 経済産業省が2020年で現状の10倍、2030年で40倍という目標を明らかにしていますが、フェローテックの狙いは。

太陽電池関連の2020年の市場規模は最大10兆円と見込まれています。当社としては、中国を生産拠点として生産能力を増強し、高品質の装置を適正価格で販売していく計画です。ただし、世界の需要が拡大すれば、エリアごとに製造拠点が欲しいとエンドユーザーは考えるはずですが、当然、コストや優遇税制の問題なども加味しながら、全世界に目を向けていきます。

### Q5 先ごろ第三者割当てによる新株予約権発行を発表されましたが、資金調達はどのように活用されていくのでしょうか？

太陽電池関連製品の生産能力の向上に活用する予定ですが、三分の一は石英るつぼの生産能力強化に使います。消耗品である石英るつぼは品薄が心配されています。将来的には、太陽電池関連だけで連結売上高の6割ぐらまではいきそうです。当社が持っている世界的な営業力と、中国を核とした製造拠点、日本の生産技術の組み合わせで、太陽電池の「エネルギー」に加え、これからの成長分野である「食糧」「水」「医療」などの分野でも可能性を探っていきます。



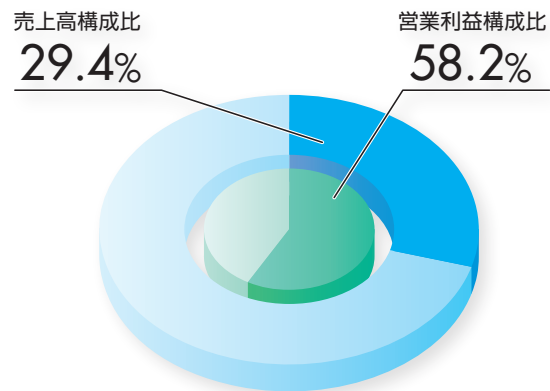
### Q6 夢が膨らんできました。株主様に何か一言お願いします。

当社は、装置関連、太陽電池関連、電子デバイス、CMSと4基のエンジンをもっていながら、当期だけを見ると太陽電池関連という1基のエンジンだけで飛んでいる飛行機のようなものです。株価は1,000円を切らないで頑張っていますが、1,000円というのは1株あたりの純資産にすぎません。今回のように減損処理が一段落すれば、さらに利益も出せ、株価にも反映されてくるでしょう。1~2年先を楽しみにしていただきたいと思っています。

## セグメント別事業概況

当社グループの事業は、2009年3月期第1四半期から「太陽電池関連事業」を新設し、「装置関連事業」「電子デバイス事業」「CMS事業」とあわせて4事業から構成されています。

### 太陽電池関連事業



売上高 117億1,400万円

※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。

営業利益 16億5,800万円

当事業年度から新設した当該事業の主な製品は、シリコン（単・多）結晶製造装置、石英るつぼ、太陽電池用シリコン製品などです。

再生可能エネルギーの一つとして注目を集める太陽電池産業が拡大しており、中国の太陽電池セルメーカー各社から、単結晶製造装置及び多結晶製造装置の大型受注を得た後、出荷は順調に進んでいます。受注に関しては、



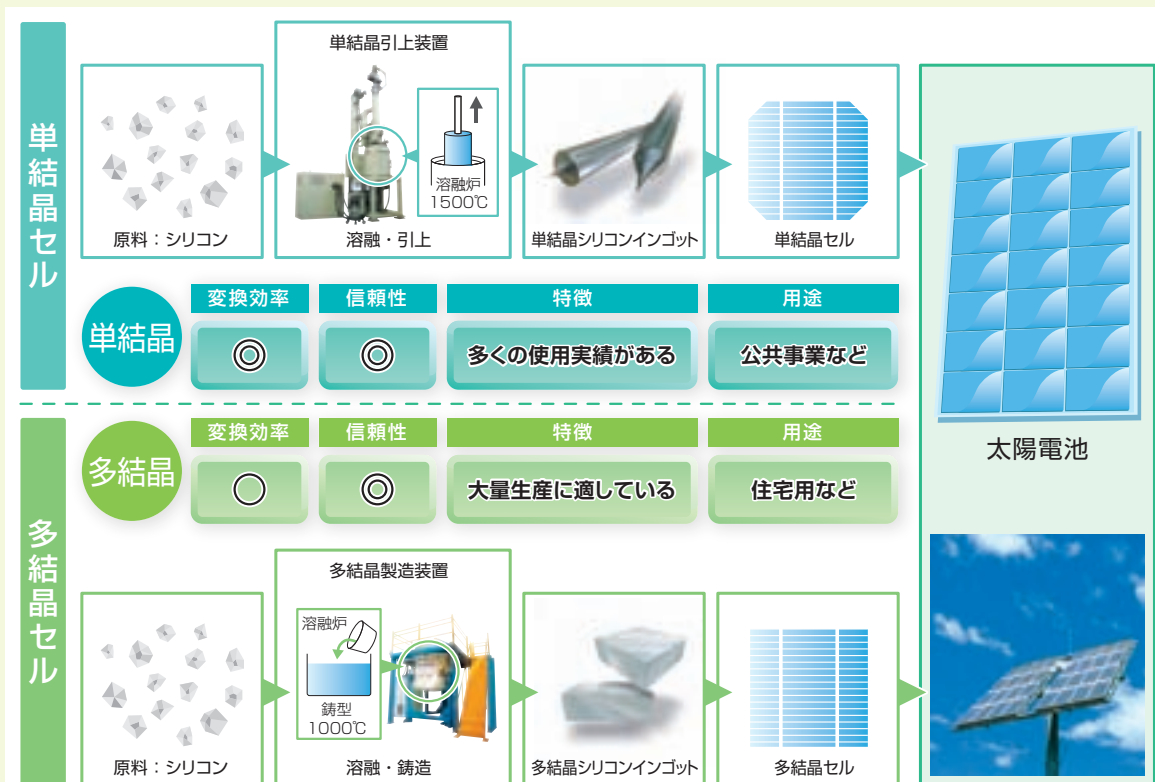
年末にかけて最終需要家である欧州市場が金融危機の影響により太陽電池パネルの購買意欲が減退したため、当社の顧客である中国の太陽電池セルメーカーからの装置受注が一時的に減少しました。しかしながら、太陽電池用シリコン製品や単結晶製造装置に使用されるるつぼの売上也順調に増加しました。当該事業は高い利益率を実現しております。

太陽電池の基板(セル)となるインゴットを作る

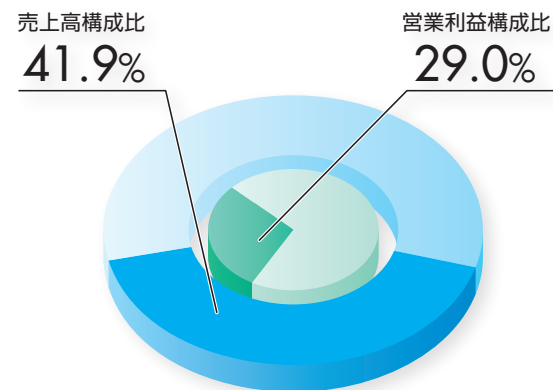
クローズアップ

## 「シリコン結晶製造装置」

太陽電池は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や有害な排気ガスを出さず、太陽がある限り発電をし続ける、全くクリーンな発電装置です。フェローテックでは、これまで培ってきた技術・製品を応用し、太陽電池の基板材料となるシリコンインゴットを作るための製造装置を製造・販売しています。新エネルギー産業として著しく成長している太陽電池産業。当社の技術が息づく製品は、アジアや欧米の各国から信頼を得ています。



## 装置関連事業



売上高 167億円

※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。

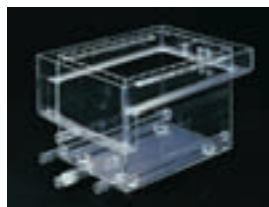
営業利益 8億2,600万円

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品などです。

半導体市場では、PC、自動車、携帯電話向けなどの電子部品の需要低迷から設備投資の抑制及び生産調整が続いており、また、液晶パネル等パネルメーカー各社の設備投資も、年央からパネル在庫の増加により設備投資が減少へ転じました。このため、真空シー



真空シール



石英製品



セラミックス製品

ルにつきましては、薄膜系及びシリコン系の太陽電池用各種製造装置向けが増加したものの、半導体・液晶関連向けの落込みをカバーすることができず売上が減少しました。また、半導体メーカーが主な販売先である石英、セラミックスなどの消耗製品につきましても売上が大幅に減少しました。

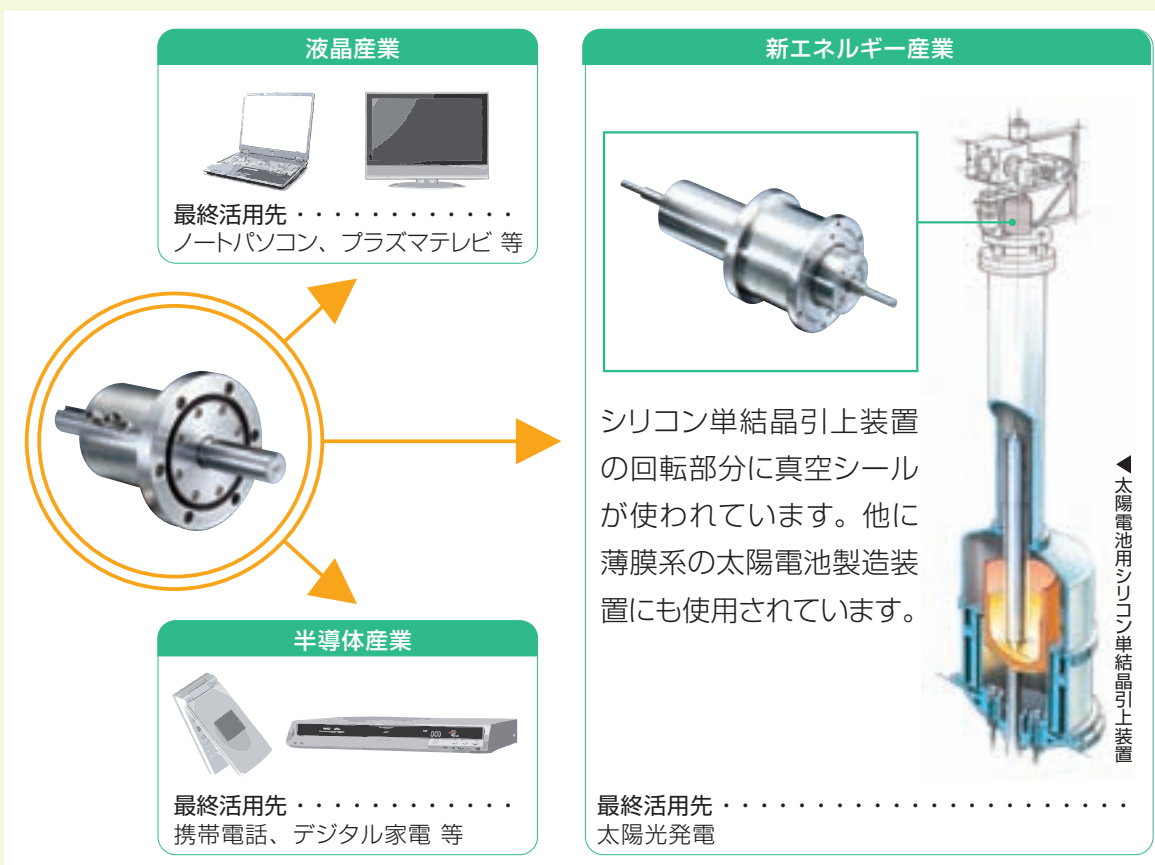
このように装置関連事業を取り巻く環境は厳しいものとなりましたが、売上高は概ね計画のとおりとなりました。

## クローズアップ

世界シェア7割

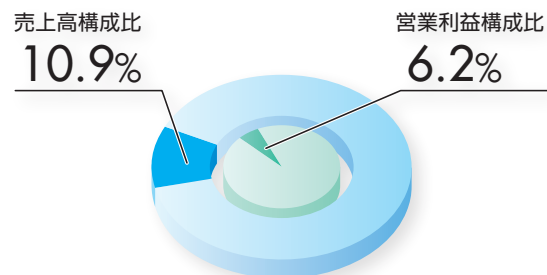
## 「真空シール」

真空シールは主に半導体製造装置や液晶関連製造装置の基幹部品として使用され、世界シェア約7割を誇ります。さらに、フェローテックの真空シールは成長分野である太陽電池産業でも活躍しています。



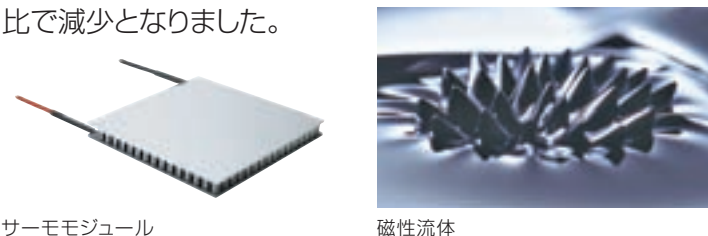


## 電子デバイス事業

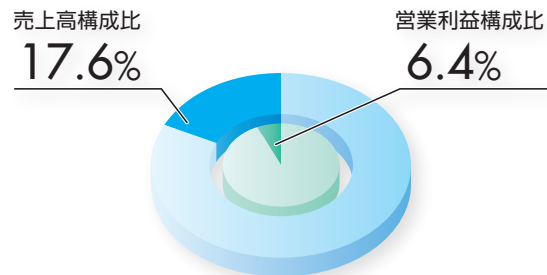


売上高 **43億5,400万円**  
※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。  
 営業利益 **1億7,900万円**

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。サーモモジュールは、米国を初めとする自動車販売の減少に伴い主力の自動車温調シート向けの減少が予想されたため、バイオ・医療機器向けや民生機器向けの営業を強化しましたが、売上高、利益共に前年同期比で減少となりました。



## CMS事業



売上高 **70億2,100万円**  
※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。  
 営業利益 **1億8,300万円**

当該事業は、受託契約による他社製品を製造する事業ですが、顧客との守秘義務契約に伴う制約から詳細な記載は控えております。

半導体市場低迷の影響を受けてシリコンウェーハ加工の売上が減少したものの、装置部品洗浄並びに表面処理加工の売上は前年同期比で横ばいとなりました。工作機械製造は、自社のシリコン結晶製造装置部門へ人員をシフトしたことにより減産をいたしました。

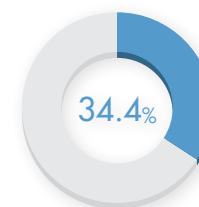


## 地域別事業概況

### 国内

売上高 **175億9,500万円**

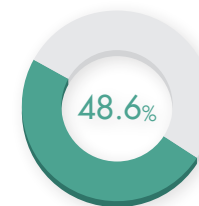
研究、生産技術の開発から中国工場の支援、グローバルマーケティングの分析、精密加工品の製造等、フェローテックグループのヘッドクォーターとして収益の確保に努めています。



### アジア

売上高 **248億900万円**

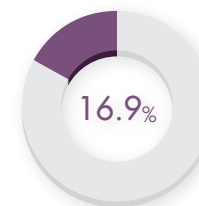
フェローテックグループの生産拠点である中国では、生産・品質管理体制をしっかりと確立。シンガポールにはマーケティングを担う事業拠点もあります。今後も成長市場である中国・アジア市場への事業展開を進めていきます。



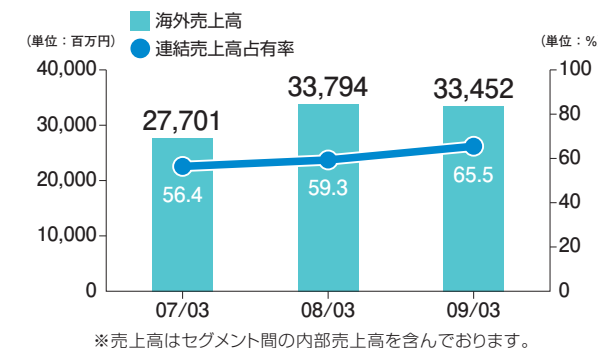
### 欧米

売上高 **86億4,300万円**

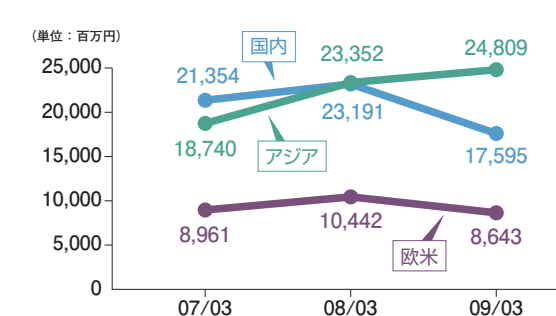
欧米ではマーケティングの他、世界有数のエレクトロニクス産業の最先端技術動向と市場の動向を一早く捉え、的確に製品化できるよう取り組んでいます。



### ■ 海外売上高の推移と連結売上高占有率



### ■ 地域別売上高の推移



■ 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	29期		28期	
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
<b>【資産の部】</b>				
流動資産	24,148	18,906		
固定資産	22,803	22,067		
有形固定資産	17,274	16,327		
無形固定資産	3,425	3,073		
投資その他の資産	2,103	2,665		
<b>資産合計</b>	<b>46,951</b>	<b>40,973</b>		
<b>【負債の部】</b>				
流動負債	21,034	14,252		
固定負債	6,883	5,219		
<b>負債合計</b>	<b>27,917</b>	<b>19,472</b>		
<b>【純資産の部】</b>				
株主資本	19,907	19,569		
評価・換算差額等	△1,324	1,725		
少数株主持分	451	206		
<b>純資産合計</b>	<b>19,034</b>	<b>21,501</b>		
<b>負債純資産合計</b>	<b>46,951</b>	<b>40,973</b>		

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	29期		28期	
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
売上高	36,653	36,625		
売上原価	25,357	25,984		
売上総利益	11,295	10,640		
販売費及び一般管理費	8,505	7,583		
営業利益	2,790	3,057		
営業外収益	396	319		
営業外費用	1,090	962		
経常利益	2,097	2,414		
特別利益	234	798		
特別損失	662	322		
税金等調整前当期純利益	1,669	2,890		
法人税、住民税及び事業税	807	1,135		
法人税等調整額	98	△145		
少数株主利益（又は損失△）	19	△4		
<b>当期純利益</b>	<b>743</b>	<b>1,903</b>		

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日残高	7,320	7,922	4,413	△86	19,569	241	1,483	1,725	206	21,501
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△577		△577					△577
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	227	227			454					454
剰余金の配当			△254		△254					△254
当期純利益			743		743					743
自己株式の取得				△0	△0					△0
その他			△27		△27					△27
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△309	△2,740	△3,049	244	△2,805
連結会計年度中の変動額合計	227	227	461	△0	916	△309	△2,740	△3,049	244	△1,888
平成21年3月31日残高	7,547	8,149	4,296	△86	19,907	△68	△1,256	△1,324	451	19,034

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	29期		28期	
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成19年4月1日から平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,699	4,413		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,692	△2,104		
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,686	△174		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△743	100		
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△51	2,235		
現金及び現金同等物の期首残高	5,461	3,225		
現金及び現金同等物の期末残高	5,410	5,461		

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

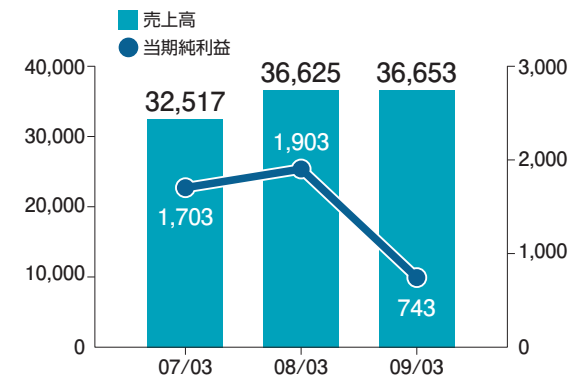
■ ポイント 1

資産は前連結会計年度末と比べ5,978百万円増加し、46,951百万円となりました。これは主に、(株)フェローテックセラミックスが連結対象会社となったことによるものです。  
負債は、前連結会計年度末と比べ8,445百万円増加し、27,917百万円となりました。これは主に、(株)フェローテックセラミックスが連結対象会社となったこと、および同社取得資金の借入によるものです。

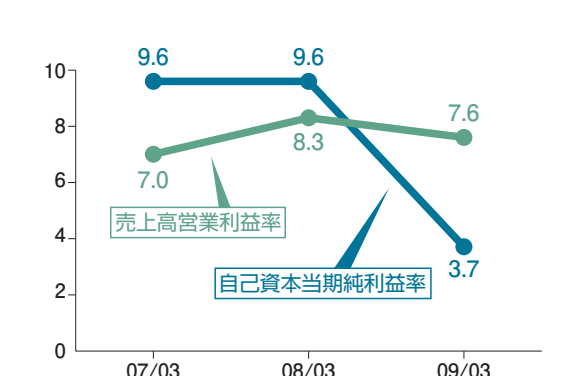
■ ポイント 2

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、当連結会計年度末には5,410百万円となりました。  
（営業活動によるキャッシュ・フロー）  
税金等調整前当期純利益1,669百万円（前連結会計年度比1,220百万円減）に減価償却費等の資金を伴わない費用、仕入債務の増加等により、営業活動の結果得られた資金は2,699百万円（前連結会計年度比1,714百万円減）となりました。  
（投資活動によるキャッシュ・フロー）  
投資活動の結果使用した資金は、8,692百万円（前連結会計年度比6,588百万円増）となりました。これは主に中国子会社の生産設備投資と(株)フェローテックセラミックス株式の取得によるものです。  
（財務活動によるキャッシュ・フロー）  
財務活動の結果得られた資金は6,686百万円となりました。これは主に長短借入金によるものです。

■ 売上高/当期純利益 (単位:百万円)



■ 売上高営業利益率/自己資本当期純利益率 (単位:%)



## 会社情報

### 会社概要 (平成21年3月31日現在)

商号 (英文表記)	株式会社フェローテック Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	75億4,758万3,787円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード: 6890)
決算期	3月31日
従業員数	184人

### グローバルネットワーク (平成21年3月31日現在)

#### 国内

株式会社フェローテックオーツ(東京)  
株式会社フェローテックシリコン(東京)  
株式会社フェローテックセラミックス(東京)  
アリオンテック株式会社(山形)

#### 海外

杭州大和熱磁電子有限公司 (中国杭州市)  
上海申和熱磁電子有限公司 (中国上海市)  
上海漢虹精密機械有限公司 (中国上海市)  
上海漢虹国際貿易有限公司 (中国上海市)  
台湾飛羅得股份有限公司 (台湾)  
Ferrotec Korea Co., Ltd. (韓国)  
Ferrotec Corporation Singapore Pte.Ltd.  
Ferrotec(USA) Corporation (アメリカ)  
Ferrotec GmbH (ドイツ)  
Ferrotec Ltd. (イギリス)  
Ferrotec S.A. (スペイン)  
Ferrotec S.R.L. (イタリア)  
Ferrotec SARL (フランス)  
SCTB NORD (ロシア)

### 事業所 (平成21年6月26日現在)

本社  
〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14  
関西営業所  
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1F  
東北営業所  
〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53  
釜石事業所  
〒026-0302 岩手県釜石市片岸町3-35  
千葉テクニカルセンター  
〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

### 役員 (平成21年6月26日現在)

#### 取締役

代表取締役社長 山村 章  
取締役 賀 賢漢  
取締役 有賀 敬治  
取締役 吉田 勝  
取締役 小松 輝寿  
取締役 山村 丈  
取締役 椿 勲  
社外取締役 山根 威人  
社外取締役 中塚 勝人

#### 監査役

常勤監査役 宮田 賢一  
監査役 野口 光夫  
監査役 井上 朗

#### 執行役員

代表取締役社長 山村 章  
取締役常務執行役員 賀 賢漢  
取締役執行役員 有賀 敬治  
取締役執行役員 吉田 勝  
取締役執行役員 小松 輝寿  
取締役執行役員 山村 丈

## 株式情報

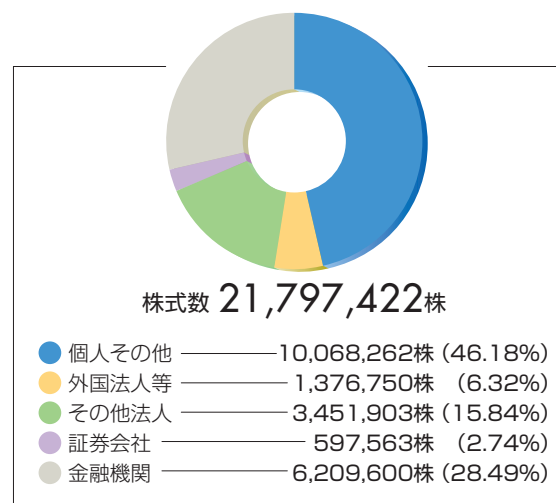
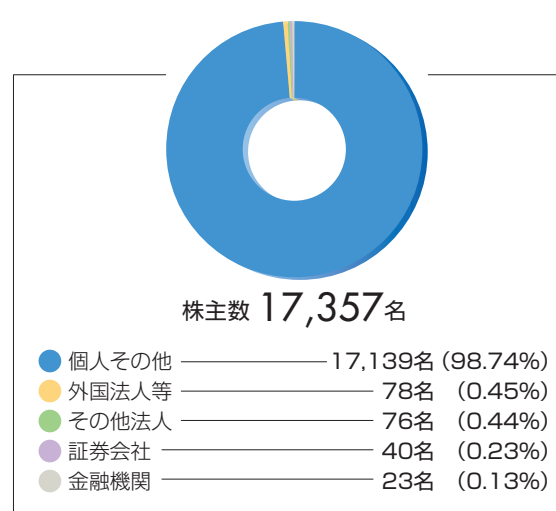
### 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	21,797,422株
株主数	17,357名

### 大株主 (平成21年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
1 株式会社小松製作所	1,820,000	8.35
2 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	1,770,200	8.12
3 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	1,273,000	5.84
4 株式会社クボタ	1,200,000	5.51
5 山村 章	804,800	3.69
6 日興シティ信託銀行株式会社 (投信口)	680,500	3.12
7 株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.93
8 日本証券金融株式会社	414,500	1.90
9 住友信託銀行株式会社	400,000	1.84
10 株式会社北日本銀行	205,500	0.94

### 所有者別株式分布状況 (平成21年3月31日現在)



(注) 自己株式93,344株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。